

村田高校総合学科通信



宮城県村田高等学校

宮城県柴田郡村田町大字金谷 1

<http://murata-h.myswan.ne.jp>
 創立大正13年
MURATA
 SINCE1924


生活に活気・学習に意欲・行動に責任

Soramame 10号

柔道部 庄子桂豪

一本からの成長

空手道同好会 吉田瑠奈

最後の形



部員が一人だけ、満足な練習ができないなかで最後の大会に臨みました。大会前の一週間、友人に協力してもらい、「背負落からの寝技」を繰り返し練習しました。初戦では、練習通りに「背負落」で〈技あり〉を取り、そのまま「崩上四方固」に入り、一本勝ちを収めることができました。普段の部活動で、一人でコツコツと筋トレや走り込み等、基礎的な体力・体幹強化に励み、一人だけであっても努力を積み重ねる大切さを学びました。

これからも人間性を高め成長していけるよう努力を続けていきます。



速報!
 ボウリング出場
 東北大会出場
 次号掲載
 村上真颯



こんにちは。空手道同好会の吉田瑠奈です。今回の県総体の結果は県ベスト16でした。私たちの代で部がなくなってしまうことをとても寂しく感じています。それでも、この部で過ごした3年間は苦しいことも沢山あったけどすごく濃くてとても充実した日々を送れました!そして先生からいただいたご指導は、一緒に忘れることのない大切な思い出です。今まで応援してくださった生徒の皆さん、そして顧問の大宮先生、1番近くで支えてくれた“みゆ”。今まで本当にありがとうございました。

県総体、本当にお疲れさまでした。

これまでの努力に心から拍手を送ります。

バドミントン部 平間陽登



剣道部 山家新史

初めての県総体



私が初めて県総体を終えて思ったことは顧問の大内先生に感謝することです。最初に部員数を聞いて私が一人と言われたため、練習はどうすればいいんだと思いますが大内先生が面を付けて一緒に稽古をしてくださり、本当に助かりました。いつもありがとうございます。これからも稽古を頑張って大会で上位を目指したいです。

3年間を振り返って

私は部活動を通して、仲間と協力することの大切さや最後まであきらめずに努力することの大切さを学びました。部長として活動する中で、自分のことだけでなく、チーム全体のことを考えて行動する責任感も身に着けることができました。大会では、思うような結果が出ないこともありましたが、多くの経験を積み重ねることで、自分自身を成長させることができたと感じています。支えてくれたチームメイトや顧問の先生方への感謝を忘れず、これまでの経験を今後の学校生活や進路実現に向けて生かしていきたいです。

村上真颯

祝



東北総合スポーツ大会
 ボウリング競技
 少年男子県代表

ソフトテニス部 小林希斗 団体戦



仙台市の青葉山テニスコートで試合は行われました。村田高校は人数不足のため、東北生活文化大学高校と対戦し、0-3で負けてしまいました。この大会では、これまでの練習を振り返ってもっと技術の精度を高めたいと思いました。応援ありがとうございました。



授業紹介



大宮 成 旋盤実習では、金属が少しずつ削られて形になる過程に面白さを感じました。最初は操作が難しかったものの、慣れるにつれて楽しく作業できるようになりました。また、図面通りに加工する難しさや重要性、安全に作業する大切さを学びました。わずかな寸法の違いが仕上がりに影響するため、高い集中力が必要だと実感しました。さらに、工具や機械の使い方への理解も深まり、失敗から多くを学ぶことができました。モノづくりの奥深さを知り、今後はより正確な加工技術を身に付けていきたいです。

ふくろう便第2弾



定期的に行われる朝読書での全校読み語り第2弾。全校での読み語りは物語の

世界に引き込まれ、想像力が広がる楽しい時間でした。静かに耳を傾けることで心が落ち着き、友達と感想を共有することで新たな気づきも生まれました。次回も楽しみです。とても良かったです。川村風之介

国語表現 ふくろう便第3弾 生徒が読み聞かせ

小林希理 国語表現の時間に全校放送の読み聞かせ練習を行った。大きな声を出すことや慣れない言葉で読むことが難しかった。グループで協力しタイミングを合わせるのも大変でしたが、表現の幅が広がりました。登場人物の気持ちを考えながら読むのは難しかったですが、本番がとても楽しみです。



商業実践系列検定シーズン到来 進路に生かせ“資格は財産”

宇藤美咲 簿記検定とビジネス文書実務検定に向けて、これまで毎日の授業や家庭学習を大切にしながら、基礎から応用まで理解を深めてきました。本番では今までの努力を信じ、落ち着いて問題に取り組み、自分の力を十分に発揮したいです。合格を目指し、最後まであきらめずに挑戦し続けます。

また、この経験を今後の学びや将来に生かしていく強い意気込みで臨みます。



6月28日実施の簿記検定に向けてタブレットを活用し協働学習に励む生徒



7月5日実施「ビジネス文書検定1級」にチャレンジする生徒の練習風景

3年次進路ガイダンス



進路活動
動き出す

就職希望
対象者
講習会

横関信太郎先生 (ライセンスガミ)

進路ガイダンスは、皆さんが自分の将来と真剣に向き合う大切な第一歩です。希望進路を実現するためには、目標を明確にし、計画的に行動することが何より重要です。日々の授業や生活態度、あいさつや時間厳守といった基本的なことも、進路活動において大きな評価につながります。また、就職や進学試験は、準備を早く始めた人ほど有利になります。迷いや不安がある場合は、一人で抱え込まずに周囲の先生方や家族に相談してください。自分の可能性を信じ、最後まであきらめず努力を続けていくことが、進路実現への鍵となります。皆さん一人ひとりの挑戦を心から応援しています。

3年次主任須田昌宏



分科会で説明を受ける生徒の真剣なまなざし

校内職員研修会



成績処理ソフト研修会 R8.6.1



デジタル採点研修会 R8.5.27

ICT 研修会
ロイロノート
活用実践授業
R8.4.30

今年度は月1回の校内研修を通して、ICT活用や評価業務の効率化について実践的に学ぶ研修会を実施している。ロイロノート研修では、授業の展開に多様な工夫が可能となり、自習課題への活用にも有効であると感じた一方で、生徒が学習内容を振り返る仕組みには課題が残ると分かった。デジタル採点ナビでは、結果分析を効率的に行える点に大きな利便性を感じた。また、成績処理シフト研修では、操作が簡単で業務負担の軽減につながることを実感した。今後もこれらの知見を授業や業務改善に生かしていきたい。

挨拶運動



恒例の生徒会による朝の挨拶運動

マナーアップの充実を図るため定期的に実施している。



写真は6月2日・3日の活動

校長つぶやき

村田町や近隣市町村のことをいろいろと知ると「なるほど!」と感ずることが多くあります。例えば、村田町でいえば、「そら豆」やこれからはとうもろこしも楽しみです。川崎町でいえば「そば」や「椎茸」など。また、大河原町だと「梅」や「ブルーベリー」等々…食べ物ばかりあげてしまいましたが、様々な分野でまだまだ知りたいことがたくさんあります。同じように、村田高校の教育実践も、たくさんの方に知ってほしいという思いが、日に日に大きくなっています。

